



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和5年3月発行

挑戦し 人と人が 人と学びが つながり笑顔いっぱい「ありがとうの会」

校長 土屋 貴俊

3年ぶりに保護者・CS 委員をお招きしオール丹那の心温まる会となりました。

5年生が中心となり、12月から計画し運営してきました。初めてのリーダーとしての活動で紆余曲折がありましたが、りっぱに最後までやり遂げました。今までは、流れを上級生が決めてくれて、言われたことや割り振られたことに取り組んできました。

しかし、今回からは自分たちで構想を描き、計画を練り下級生を引っ張っていく役目があります。リーダーとなる喜びや苦しさ、責任の重さを実感できたことと思います。みんなで力を合わせて会を成功させたことができました。この機に自分を信じ、誰からも信頼されるりっぱな最上級生になってくれることでしょう。

今回リーダーとなった5年生だけでなく、他の学年の子供たちも今までの6年生との関係や学習を生かして感謝の思いを表現することができました。「最初は恥ずかしいと思っていたけど声を出せるようになった」「最初は面倒と思っていたけど、やっていたら楽しくなった」等子供たちの成長の姿がたくさん見られました。特に5年生の感想の中で、「できなかつたり失敗したりしたら、工夫して新たに考える努力をすることを学んだ」とありました。まさにこのような姿が丹那小学校の重点目標となっている「試行錯誤を繰り返して課題を解決し、自分の成長に笑顔になる子」の姿です。結果よりも過程を大切にし、よりよい姿に向けて、うまくいかなかった要因を探り、さらに一歩踏み出すためにはどうしたらよいのかをみんなで知恵を出し合うこと。他者と折り合いをつけながら解決していくことが、今後社会で生きていくために必要な力となります。次年度も失敗を恐れずに挑戦し、人と人が、人と学びが つながり誰にとっても居場所のある学校を目指します。



さて、次年度は「総合的な学習の時間」を使って、地域と子供たちがさらにつながる「地域探究学習」を進めます。3～6年生がそれぞれにテーマを決めて学びます。150周年記念行事

に成果を発信できればと思っています。

最後に、今年度は通常に近い教育活動を実施することができたのは、保護者や地域の皆様の御協力のおかげと思っています。本当にありがとうございました。来年度は、さらに地域の人やもの・ことに子供たちが主体的にかかわっていくようになります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地域を学ぶ 地域で学ぶ 地域へ発信する探究学習

